

お兄ちゃんおすすめの日空とぶライオン
 を読みました。私のお兄ちゃんはどうなことに
 一生けんめいがかんぱりやです。そんな
 お兄ちゃんが「がんばりすぎたかな」と思
 った時にこの本を讀むんだよ」と言いました。
 ライオンは、いつだってりっぱでした。ね
 こたちにえものをとってきいてあげて「さすが
 ライオンだ」とねこたちが感心すると、また
 えものをとりにとんで行きます。つかれて休
 みたくても。ねこは、ライオンがとってきた

聖学院小学校

えものを食べて歯をそうじしながら「さすが
 ライオンだ」と言うんだもの。なんだかそ
 びしくなりました。おだてられて、つかれて
 も、休みたくても、おどくてもよくいなき
 ならなかつた。ライオンのことが、とても気に
 なりました。なんで「がんばらなくていい
 よ」とって、だれも言わなかった人
 だらう。本の中にとびこんで行って、「いつ
 しょにひるねしよう」と言いたくなりました。
 もう、あるいねこは、大っきらいの私はみん

なであそんでいる時に、はいめはぶざけた
 小さないじ悪だったのに、その内やめてくれ
 なくなつて、あつとからかわれてる時のよう
 な気になつて、やめて。やめて。となき
 だしたくなるめたいな気もちがしました。
 ライオンは、いつも勇ましくて、かつてが
 よくて、だれにも弱いことを言わなかつたけ
 ど、叔につかれて、さめざめと泣いたことも
 あつたんです。そうしてとうとう、ふるねが
 しゅみだつた。このライオンは、本当にうづけ

聖学院小学校

なくなつてしまいました。それでも、ふざけ
 ていると思つてわらつていたね。たち。。
 ライオン。さびしかつたんじゃないかな。
 私はこの本を讀んで、大切な気もちを見つ
 けたので、つよいこととやさしいことをちや
 んと知つてるお兄ちゃんか、もつと好きにな
 りました。お兄ちゃんは一頭をあうつとなで
 てくれました。大きな絵本だけど、大きくな
 っちやつた人にも、かんばる人、みんなに、
 讀んでもらいたいなあと思ひました。